



彼とのセックス ケケケケケケケケケケ ないから じゅわ

あたしのココロに
入れて欲しいの…

15

Presented by,

ロジロ

彼とのセツクスじゃ
イケないから…

あたしのココロに
入れて欲しいの…





一週間前



ハイハイ

カッ



胸きつそうだね

夏森さん

……

じ……

セク!



清水さま……

夏森

そのような発言は
ご遠慮くださると……



ああ
ごめんごめん

ついその大きな胸とお尻が
物を倒さないかと心配で



いやでも本当に
助かってるよ

家事代行なんて
どんなもんだと
思ってたけど
頼んで良かった

仕事が忙しくても
部屋が荒れないのは
助かるし

はあ...

.....っ

そんな風に見ないで
ほしい.....

たやん

この制服 胸が
強調されるから余計に

ちゅっ

いん

いん

夏森さんみたいなのに
来て貰えて目の保養にも
なるしね



やっぱりあの人が
苦手だな……

……っ
次はお料理
作っておきますね

よろしく



では作り置きした
ものはいつも通り
冷凍しておきましたので

助かるよ
お疲れ様
また次回も
よろしく

では
失礼します

パーン



昔からエロい身体だったって
男子にからかわれてきた

みんな私の顔を見るより
先に身体をシロシロ
見てくるから

どうしても
男の人って苦手



清水さん
カッコいいし
モテるんだらうけど

はあ……

すべて私の身体のこと
ネタにしている……



それに……あんな目で
見られると……

もじ……



なんで身体が
火照っちゃうの…!!



ずっと男の人を
避けて
生きてきたけど

こんな私にも
恋人なんて
できるのかな…?



Hな目で見られるの
なんて嫌なのに

どっしりも
意識しちゃって

こんな自分が嫌…!!



私の身体じゃ
なくて

ちゃんと中身を
見てくれる人…



新しい
仕事先……？

差出人: KPメイドサービス

夏森さんに
新しい依頼が来ている。
明日現地に向かってください。

依頼人: 羽川ゆかり様

主な依頼内容: 住宅内の清掃

報酬: ……………



そんな人いないよね……
自分の性格が暗いのは
わかってるもん

すごいお家…!!

羽川ってまさか
あの羽川財閥の？

IKPメイドサービスの
の者ですが

はい

いらつしやい
依頼してた
羽川ゆかりです

待ってたわ

うわ…

すごく綺麗な人…!!

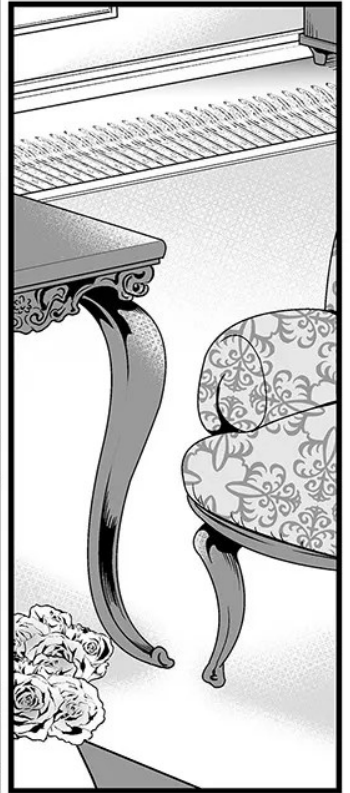
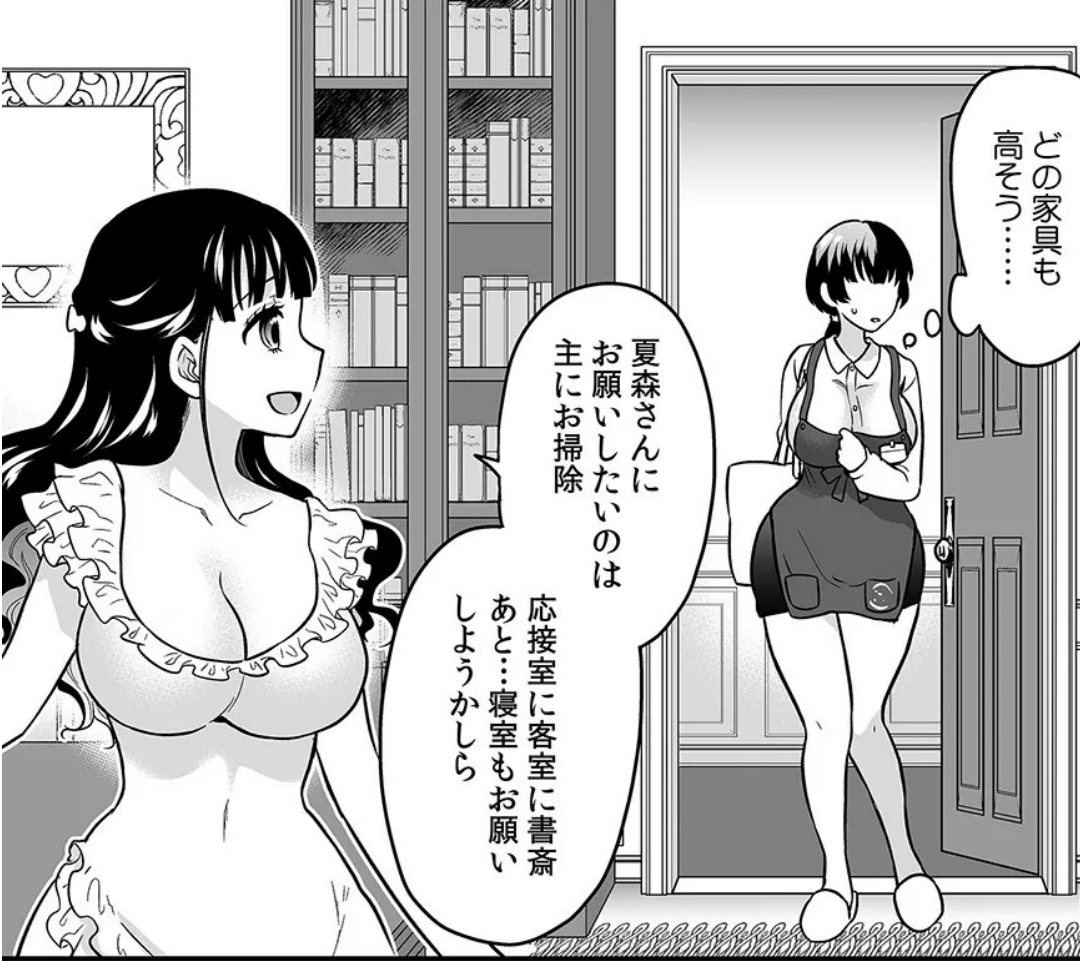
私なんかとは
大違い…!!

どうぞ中に
入って

はい…!

すごく気品と自信に
満ち溢れている…!!

この人も胸が大きいのに
下品な感じはしなくて





この匂い……

むわあ



ふう……
寝室もこんな感じで
いいかな



ゴミ箱の中身も
まとめて……



すごい量の
使用済みティッシュ
……

たぶん……
Hの後の……



夏森さんは
この後もお仕事？

いえ

この後は直帰
するつもりで……



あっはい
言われたところは大体
終わりましたっ！

ガサ
ガサ

わあ
すごいっ
すごく綺麗に
なってる……！



夏森さん？
そろそろ時間だけど



じゃあご飯
作ったから
食べていかない？

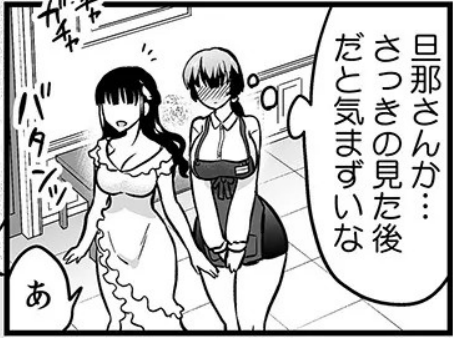
夫も
帰ってくるし



あれ...?
そちらの方は

例の家事代行の?

そう!
今日から来てもらってるの



旦那さんか...
さっきの見た後
だと気まずいな



ちようど
帰ってきたみたい

誠二!
おかえり
なさい!

ただいま
ゆかり



変なの

どうしてこの人と
話すのは嫌な感じが
しないんだろ...



?



は...
はじめまして

夏森京子と
申します.....!

俺は羽川誠二

妻のゆかりが
お世話になってます



お義父さんのくれた
家具はすぐに埃が
溜まるって困ってたもんな

俺もさつき見て来たけど
まるで新居みたいにな
ってて驚いたよ

きよ…恐縮です!

でも私なんて
まだまだで…っ



それで聞いてよ
誠二!

夏森さんったら
すごいよ

お掃除してくれた
部屋が全部ぴかぴか!



この人ちゃんと
私の目を見て
喋ってくれてるんだ

いつもは真っ先に
身体をシロシロと
見られるのに



謙遜する必要なんて
ないじゃないか

夏森さんの仕事に
対する真摯さが
伝わってきたな

本当にすごいよ

そんな男の人…

はじめてかも…



あ…

ありがとうございます
ごめんなさい…



あ
そっか



今日はすごく
助かったわ

こちらこそ夕食
ご馳走様でした

すごく
美味しかったです

今後も夏森さんに
お願いするわね

ありがとう
ごさいます……!

羽川さまと……
ええと……



「ゆかり」と「誠」で
いっしょ

二人とも
「羽川」だしね

これからもどうぞ
よろしく

夏森さん

は……

はいっ



誠「さん」……

夏森さん……

好きな人でも
できた?

え!?



やっ
やめてください
清水さまっ
そんなんじや
ありませんっ!!

ムキになるところが
あやしいなー

からかうのは
やめてください!!!

ははは
なんか妬けるな
俺には塩対応なのに

まあ夏森さんなら
大丈夫じゃない?

その身体で迫ったら
落ちない男なんて
いないでしょ?



好き勝手言つて…

こんな身体本当に
好きな人に振り向いで
もらえないなら意味がない
じゃない



不倫なんです
度胸もない

そもそもあんな誠実で
素敵な奥さんがいる人が

私になんて
振り向くはずがないよね



もう何度か
あの家に行ったけど

本当に理想的な
夫婦……



想っただけ
なら……

でも……



ゆかりさん
今日もお掃除に……

中々出な……

今日は誠二さん
いるかな……



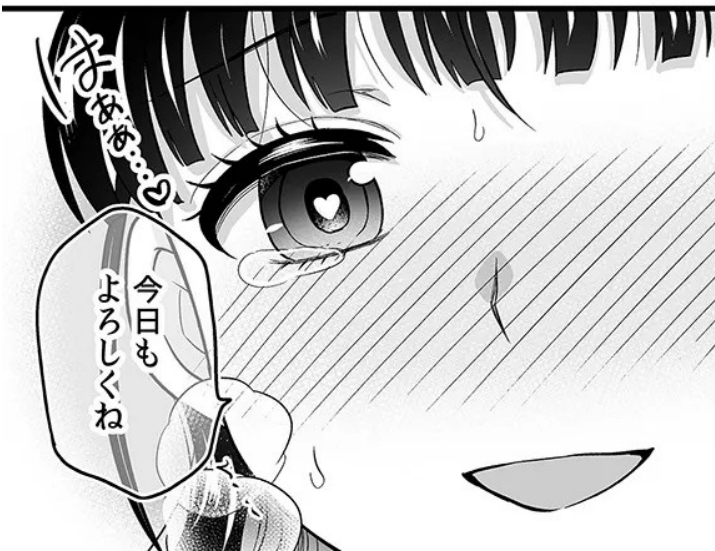
お……
お邪魔します……



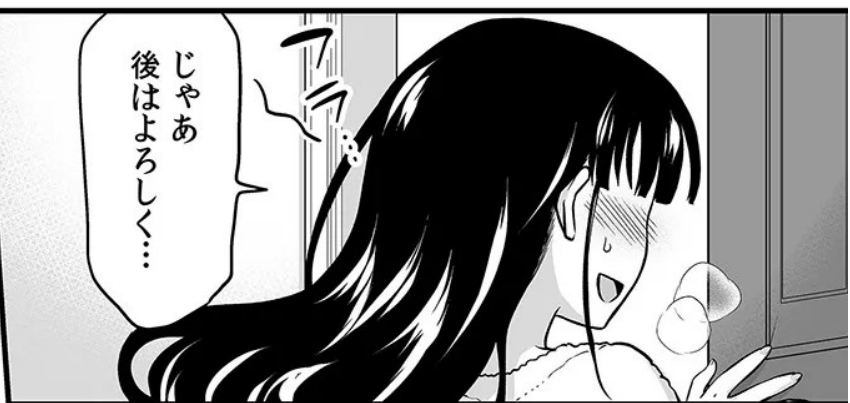
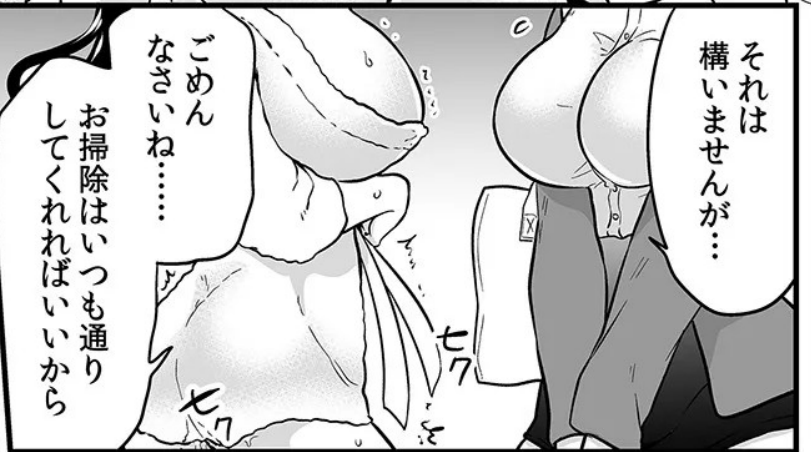
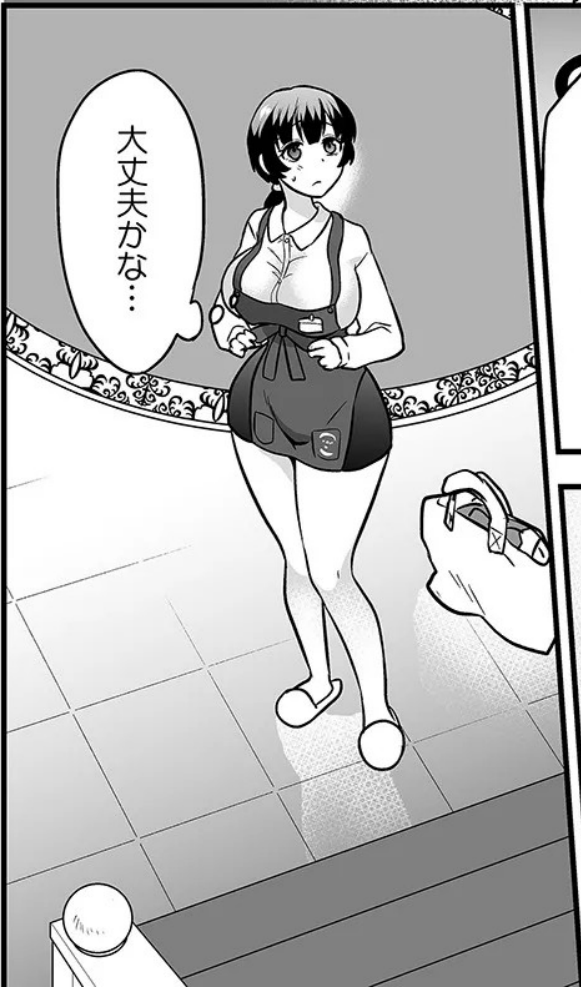
いら……しゃ……

お待たせして
ごめんね……

中に入っ……



今日も
よろしくね





仕事仕事っ

何考えてるの私っ



なんかす〜ん……

今日のゆかりさん、顔が赤くて服も崩れてたせいかな



ゆかりさんの声……?

うっ……

あ……

……?

苦し〜っ……?



ふう……

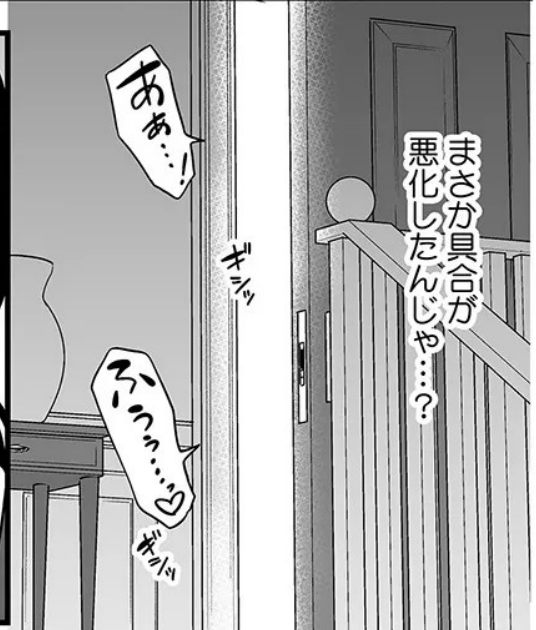
やっぱりここのお掃除は大変だな……



ちよつと様子をみるだけ……



……もし万が一があつたら……



まさか具合が悪化したんじゃ……?

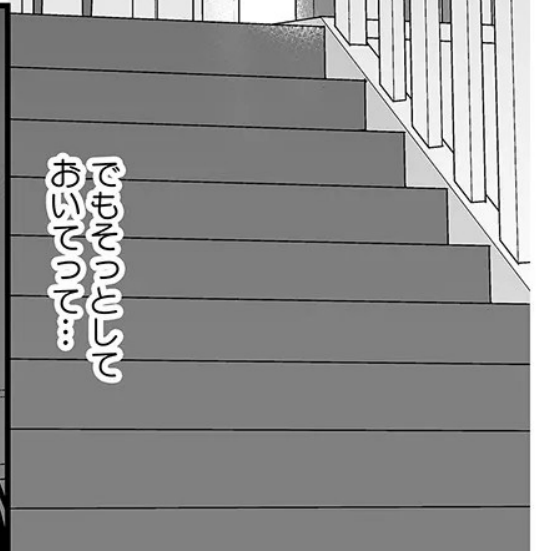
ギョッ

あ……!

ちよつと……



ちよつと様子を……



あつた……





あの男の人…

誰!?

あん♡
コータくん♡

そこオ♡

少しは声
抑えろよ

今家政婦
来てんだろ?

家政婦じゃなくて
家事代行さん♡

だから今日は
駄目って言ったのに♡

あん♡

じゃあ玄関で追い返せば
良かっただろ

ばちゅ♡

ばちゅ♡

キョん♡

キョん♡

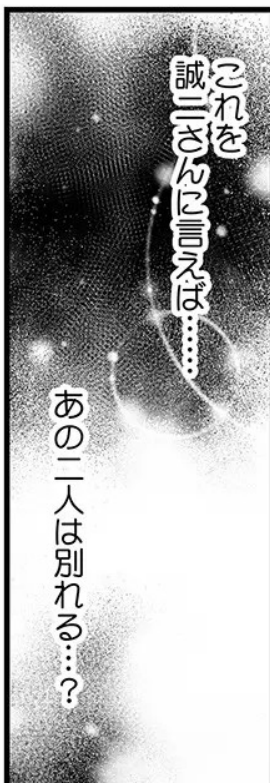
らめ♡

ははっ
お前は危ない橋渡るの
好きだもんな

そこらめえ♡
感じすぎぢやうう♡

本当はその家政婦にも
見せたくてたまらないだろ?







そつしたの... 私にだってチャンスが...??

はづらん♡

おち○ちん♡

おち○ちん♡

頭おかしくなっちゃううう

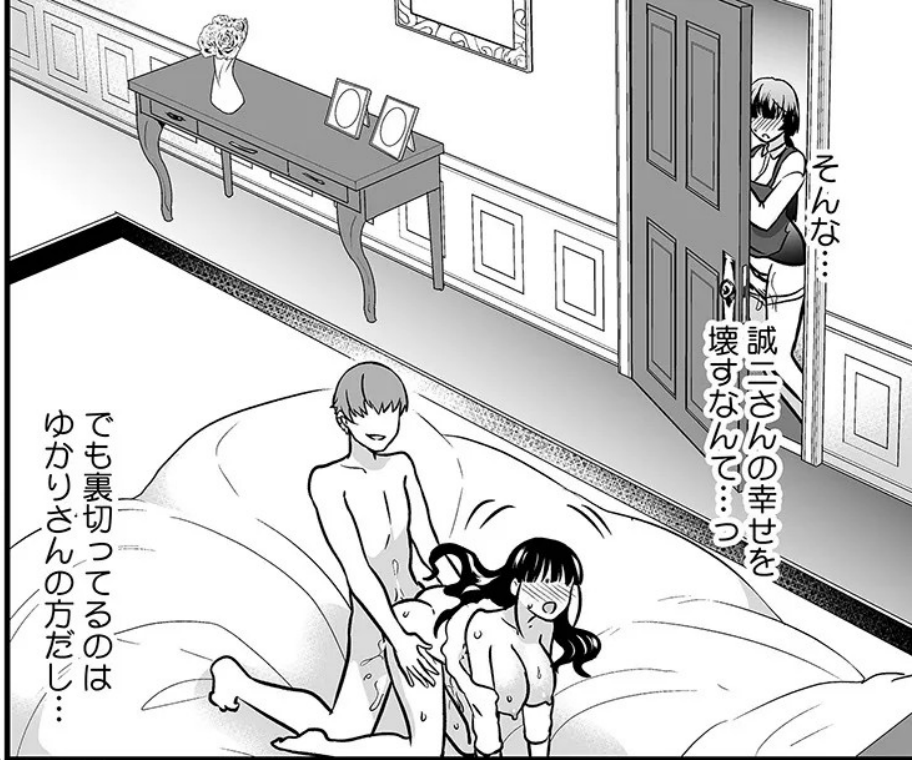


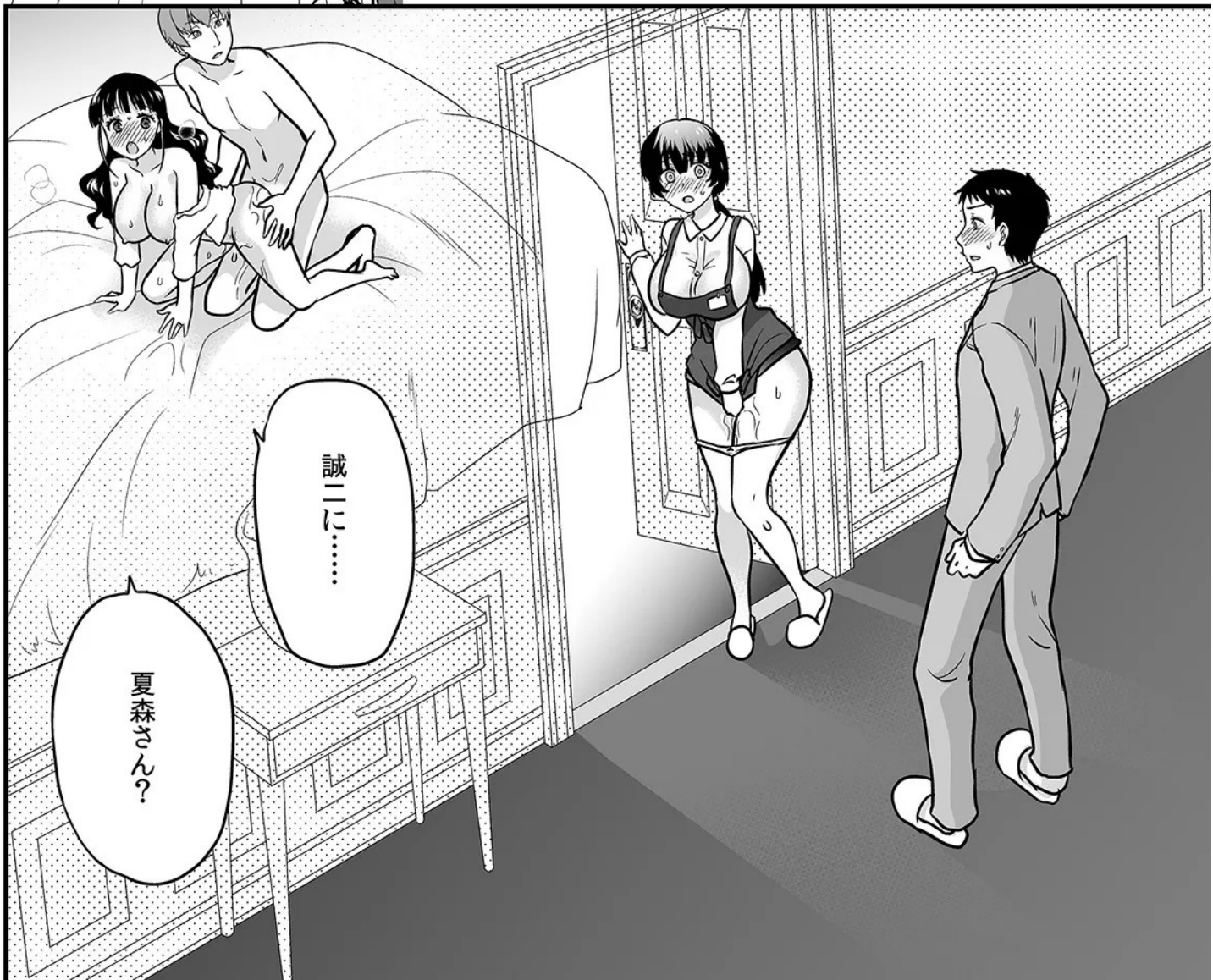
あ...!

そつしたの私も...

ひゃうう

誠二さんとあんな風...!!







彼とのセックスじゃイケないから…
あたしのココに入れて欲しいの… 第十五話

.....

著者名 □ジ□

©ROJIRO

.....

発行日 2021年1月1日

発行所 テッパン書房

.....

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等とは一切関係ありません。
本書の一部または全部を無断で複製、複製、転載、上演、放送などを行うことは、
著作権法の例外を除いて禁じられています。